

活動名 学生による「冬の観能のタベ」外国人誘客事業

団体名 観まっし！来まっし！寄りまっし！

代表者名 渡部花

はじめに（背景・目的・目標）

「平成30年度大学コンソーシアム石川の学生による海外誘客チャレンジ事業」の一環として、石川県立能楽堂で行われる「観能のタベ」に外国人を誘客するため、2018年8月から活動を開始した。目標は学生による活動を通し、「観能のタベ」各公演30名、計150名の外国人を誘客することである。そして、この活動の終了後も石川県立能楽堂が外国人誘客に積極的に取り組めるよう、基盤を作ることが目的としている。

活動内容

事業内容は主に確実に来場者数を増やすための事業としてパンフレット・グッズの作成と設置、当たれば大きいチャレンジ事業としてSNSを使った宣伝や新聞などのマスコミによる宣伝効果の2つである。

2018年8月には能楽や、マーケティングを学ぶことから始め、広告代理店である北陸スタッフとの打ち合わせを開始し、パンフレット・グッズの作成を開始した。また同時に、「能面女子の花子さん」という漫画を題材に、能面をつけて金沢市内の観光スポットを訪れ、その様子を「リアル能面女子」としてInstagramで宣伝を開始した。

2018年10月から12月にかけては、SNSに投稿するために能面彫師の後藤祐さんにインタビューをしたり、宿泊施設にて観光客のニーズについてのヒアリング調査をしたりした。また、完成したパンフレット6千部を宿泊施設や飲食店など120カ所に設置した。

成果、結果の考察

パンフレット・グッズ共に能関係者、ボランティアの方々から今までのものよりも分かりやすいと好評を頂いた。さらに、飲食店やSNS上で外国人観光客からもパンフレットの英訳に関して好評を頂き、

公演に関する質問も度々受けた。直接観光客の目に触れるパンフレットの誘客効果はとて大きいものだったのではないかと考える。

SNSを利用した活動の一環として「能面女子の花子さん」の作者である織田涼先生へのインタビューを手紙にて提案したが、都合が合わず実現することができなかった。そのため今回は自分たちの写真や編集した動画を主に掲載することになったが、ダイレクトメールでの問い合わせもあったことなど、少なからず誘客効果はあったのではないかと考える。

今後の課題、展望

Instagramの更新は石川県立能楽堂の職員によって今後も継続していくことになっている。また、Instagramだけでなく今後の活動は全面的に石川県立能楽堂が行うが、要望があれば本学人文学部を主体とした学生サークルがサポートをしていく予定である。



活動メンバーでの集合写真